

## 第4回三次市公共施設等総合管理計画検討委員会 会議要旨

平成28年2月4日(木)

10時00分から11時30分

三次市役所6階605会議室

### 【出席】

#### ●委員

塚本委員長, 細川副委員長, 木建委員, 大田委員, 高味委員, 山野内委員

#### ●三次市

財務部長: 部谷, 財産管理課長: 中原, 係長: 渡部, 主任: 奥野

#### ●計画策定支援業務受託業者: (株)パスコ(大野・廣田・西江・樫元・田中)

### 1 開 会

### 2 議 事

#### (1) 三次市公共施設等総合管理計画(素案)について

概要について事務局から計画(素案)の概要を説明。

### 委員

素案はよくまとめている。「実態はこうです。今後はこうなります」という形で示された。今後、公共施設の統廃合が「総論賛成、各論反対」にならないよう、どこまで説得していけるか。市民を説得するために、もう少し計画書に具体的に書きこんでおくべき。例えば、「利用状況を把握して適切に管理します」ではなく、「利用状況を把握して、場合によっては廃止します」というように方針を明確にするべき。方針があいまいではいけない。この計画を公表すると、既存の施設を無くすのだから叱られるのは間違いない。お叱りはごもっともであるが、それでも説得していかないといけない。民間企業の経営は常に判断の連続、どちらかを選択し、どちらかを諦めることの連続である。民間

と行政とでは異なるが、それでも市として、公共施設の問題を放置しておけないという切実な思いをしっかりと書き込んで、何を選択し、何を諦めるのか、市民を説得していくことが必要である。

#### 委員長

計画書の書き込みや今後の説明の中で、明確に説得していくことが必要である。

#### 委員

市は、コストのかかる老朽施設を譲渡したいようだが、受け手は、古くなった施設の譲渡を受けても維持できない。最低限の修繕で譲渡を受けても、今後の維持管理費をどう捻出すれば良いのか。何でもかんでもやたらに譲渡を受けるわけにはいかないという気がする。

また、今回、「公共施設の一元管理」と「施設の用途転用」を掲げている。組織の縦割の弊害を乗り越えた公共施設の一元管理や用途転用で、施設がうまく利用できれば良い。この二つは大きく打ち出していくべき。

#### 委員長

今までどおりのことをしては、公共施設の維持管理はできない。

#### 委員

集会所については、地域が必要であれば譲渡を受けるだろう。その後は、住民自治組織としても協力しないといけないと思う。

また、計画（素案）の中に「施設の廃止」という言葉が見られる。これまでは、利用の少ない施設でも利用者を増やすことばかり言われていたが、今後、利用の少ない施設は廃止を検討するということで、指定管理者としては、ホッとしている。

#### 委員

計画（素案）は全て納得して読んだ。計画は良いが、どのように進めるのか、今からが大変である。「総論賛成、各論反対」の人たちを説得するためにもうひと頑張りほしい。抽象的な表現をもっと具体的に。学校・保育所の統廃合について「関係課へのヒアリングを実施して、

この表現に落ち着いた」との説明があったが、関係者は「残してもらわないと困る」と言うだろう。全ての施設がそう言われる。関係者を説得するのは簡単ではない。「やってみて難しかったから止めました」というのはいけない。

スポーツ・レクリエーション系施設について、平成 23 年にスポーツ基本法が成立し、将来、日本がどのような社会になろうとしているのかをイメージして計画策定してほしい。

将来、国民の 65%、乳児や病人等を除く、健康な人のほとんど全てが週 1 回、必ずスポーツをする社会を想定している。スポーツ施設は今後必要になってくる。新たな施設を造らなくても、空き地や路地でスポーツはできるが、三次市がスポーツ施設をただ削減することだけに向かっていくのは、少し違う気がする。スポーツは世の中を良い方向に向かわせる。健康になって、健康寿命を延ばそうとしている社会の流れに合っていない気がする。

また、中高一貫教育校についての記載があるが、この事業は市民の議論を経た事業なのか。

#### 委員

中高一貫校は、広島県主導の事業である。当然、市の協力は欠かせない。

#### 市

中高一貫校は、今回の計画の対象ではない。誤解を招いてはいけないので、中高一貫校の記載は削除する。

#### 委員

市民へのわかりやすい説明が必要になる。今後、若者が減って高齢者が増え、そのための予算が増加するため、公共施設に充てる予算が不足してくる等のわかりやすい説明が必要と感じた。また、類似団体と比べて施設の保有量が多いという記述があるが、更に、他の何市の財政状況はこういう状況で、それと比較しても三次市は保有量が多いというように、わかりやすく説明すれば良いと思う。また、用語解説

も必要である。

庁内体制について、公共施設管理における司令塔の組織を設けるとあるが、この庁内組織を早く立ち上げ、各課が必ず公共施設の新築や更新、建替、統廃合等の計画について協議を行う体制にすることが必要である。また、公共施設等総合管理計画と同列で、行財政改革推進計画や都市計画マスタープランを位置づけて、連携がとれるようにすることも必要である。

#### 委員長

立地適正化計画（「公共施設をここの地区に集中させます」という計画）を策定するのであれば、それとの連携も必要である。

#### 委員

695施設の個々のアイデア（廃止、維持等）は持っているのか。

#### 市

施設の構造、面積、建築年月日等の大まかな台帳はあるが、施設個々の設備（エレベータ、エアコン等）の詳しい台帳がないため、現在、固定資産台帳の整備を行っている。固定資産台帳が整備できれば、施設個々の改修時期や更新、集約、廃止等の予測・判断がしやすい。固定資産台帳に基づいて、公共施設等総合管理計画の下位計画となる個別施設計画を1～2年後に策定し、その中で施設個々の方針を出す予定である。

#### 委員

詳しい台帳が無いのでは、この検討委員会での議論も無意味ではないか。

#### 市

例えば、地域の集会所の設置状況にしても地域性がある。甲奴町は全て地元が建設し、行政の補助金は入っていないが、吉舎町等では、行政が常会単位で設置してきた経緯がある。このため、合併後10年間、集会所の地元譲渡に取り組んできたが、中々進んでいない。計画（素案）では柔らかい表現になっているが、個別計画ではもう少し書き込

んでいきたい。

#### 委員

20年後の公共施設の改修見込み等はある程度予測が立つのではないか。漠然と「公共施設数を3分の1減らします」と根拠もなく言うようではいけない。

市の説明にもあったように「在ったらいい施設」ではなく「なくては困る施設」の基準を、市がどこに置くかに尽きる。

例として市道の除雪について、すべての路線を除雪するのではなく、利用の少ない路線は、冬場の利用状況を調べて、場合によって冬場は閉鎖したり、迂回路を設けたりする細やかな配慮をしてはどうか。また例えば鳥居橋についても、新旧の鳥居橋を両方同じように使うのではなく、旧鳥居橋は歩行者と自転車に限定することによって、橋梁の維持管理費は随分軽減されると思う。公共施設一つ一つを細かくチェックしていくと、案外、施設削減に同意してもらえるのではないか。

#### 委員長

この計画に全て書き込めるわけではない。今後、どのようなスケジュールで、この計画にはどこまでのことを書き込んでいくのか。

#### 市

現在、固定資産台帳整備より先行して、公共施設等総合管理計画を策定しようとしている。総務省のQ&Aにも掲載されているが、固定資産台帳整備にはある程度時間がかかる。一方、公共施設の老朽化対策は緊急の課題であり、早急に取り組む必要がある。まずは既存の情報を使って、公共施設等総合管理計画を策定し、並行して固定資産台帳の整備を進めるという手順で進めている。

今後は、公共施設等総合管理計画に基づく、個別施設計画を平成32年度までに策定することとなっている。個別施設計画の具体的な内容はまだわからないが、公共施設等総合管理計画では、施設分類ごとの方針までを出していきたい。

今後のスケジュールについては、2月10日からパブリックコメント

実施，議会への説明を経て，3月中に完成させていきたい。

**委員長**

個別施設計画は，この公共施設等総合管理計画を基に，各部署で検討するのか。

**市**

公共施設を所管する部署は限られている。関係部署が集まってチームを設け，個別施設の考え方を検討していく。

**委員長**

この委員会で話を聞いて，色々感じることもある。管理計画ということで，お金がなくて，施設を統廃合していくという暗い話になっている。どうしても楽しい話にはならない。将来の人口減少等を見据えると，施設の統廃合をある程度進めるのは仕方ないと思うが，「今後，単に公共施設の削減が加速していくだけ」と市民に思われるのも，市の本意ではないだろう。

全体として，地域を守るため，安心安全のため，今後は施設を統廃合しても違う形でサービスを補っていく。世の中が悪い方向に進むのではないかという誤解を招かないよう，こんな三次市にしていくという思いが，計画の中にもっと見えてくれば市民も安心するだろう。

「施設が無くてもサービスができる仕組み」という市からの説明があったが，それをどういう形で実行していくのか，それらの説明があると，この計画はより良い計画として市民から認知される。

この計画はあくまでも手段であり，目的ではない。市の考えをうまく整理して，説得力のある計画になれば良い。少し反発されてすぐにグラグラするような計画ではないだろうから。

**パスコ**

公共施設等総合管理計画は，平成26年4月に総務省から策定要請があったもの。三次市は平成23年度策定の前行財政改革大綱の中でも，公共施設の課題意識をもっており，取組は早い方である。多くの市の計画策定に携わっているが，計画策定過程において，庁内合意をとる

のに苦労されている自治体が多い中で、三次市はうまく市内の合意形成を図っている。また、こうした外部委員会を設けて意見を取り入れていることも、三次市らしい計画になっていると感じている。

第5章に計画のロードマップを掲げている。計画策定後、個別施設計画の策定、固定資産台帳整備、遊休地の活用等に並行して取り組むようになっている。

**委員長**

この計画は、次年度以降も実際の取り組みを重ねながら、計画の精度を高めていくということで良いか。

**市**

はい。

**委員長**

固定資産台帳は、施設の利用状況も含めて整備するのか。単にモノとしての情報だけではなく、使われている実態の情報が大切である。

**市**

その予定です。

### 3 今後の予定について

**市**

パブリックコメントの実施、議会への説明等を経て、本年3月中の策定をめざします。

### 4 閉会

**市**

本日をもって、検討委員会は一区切りとさせていただきます。本日の議論を受けて、修正した素案でパブリックコメントを実施します。今後、パブリックコメントや議会への説明等を行う過程で、大幅な変更があれば、再度、検討委員会を開催させていただきますのでよろしくをお願いします。